【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公表番号】特表2002-502992(P2002-502992A)
【公表日】平成14年1月29日(2002.1.29)
【出願番号】特願2000-530902(P2000-530902)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｌ　15/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｌ　3/00　５２１Ｅ
Ｇ１０Ｌ　3/00　５２１Ｂ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成22年2月24日(2010.2.24)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
認識される単語が入力された後、予め登録されている同音語について、該入力された単語を用いて事後学習処理を行うことにより音声認識システムの認識確率を向上する方法において、
（ａ）認識される単語を入力する工程と、
（ｂ）該入力された単語と音声認識システムに既に登録されている単語とを比較する工程と、
（ｃ）該入力された単語が明確に認識された場合、
（ｃ１）所望の動作を実行し、
（ｃ２）音声認識システムに登録されている対応する単語に対して、該入力された単語で事後学習処理を行い、
（ｃ３）処理を終了する工程と、
（ｄ）前記比較の結果、類似する単語やほんのわずかに異なる単語がいくつか存在する場合、
（ｄ１）入力された単語に類似する単語をシステムのユーザに対し、通知及び再生を行い、
（ｄ２）該入力された単語の再入力をシステムのユーザに対して要求する工程と、
（ｅ）所定の基準に基づいた相関比較によって、前記入力された単語が予め登録されている単語に対して不確実な認識や強い類似性や一致の可能性を示す場合、該システムは光学的または音声的にユーザに通知し、前記入力された単語の再入力を要求し、それにより事後学習処理を行う工程、
（ｆ）（ｂ）に戻り処理を続ける工程、
を含み、
前記事後学習処理は、前記入力された単語と予め登録されている同音語との相関的な比較に基づいて行い、特有の音声パターンをそれぞれ判定し保存する、
ことを特徴とする音声認識システムの認識確率向上方法。
【請求項２】
前記通知及び再生する単語の数は任意に予め設定できることを特徴とする請求項１記載の音声認識システムの認識確率向上方法。

【請求項３】
前記事後学習処理の回数は任意に選択できることを特徴とする請求項１から２のいずれかに記載の音声認識システムの認識確率向上方法。

【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１７】
一方、入力された名前が明確に認識されず、ステップ６における入力された音声パターンと登録されている音声パターンとの比較の結果、登録されている名前のうち類似のまたは多少異なる数個の名前である可能性が認識された場合、ステップ１０において該システムはユーザに対して通知し、入力された名前に似た名前を再生する。ステップ１１において、先に入力した名前を繰り返すようユーザに要求し、ステップ１２においてユーザは名前の入力を繰り返す。ステップ１３においてカウンタｋに１を加え、ステップ３に戻り、前記処理を繰り返す。